

市では市民の皆さんからの意見・提言などを市政に反映させるため、本年度は市民団体を対象に市政懇談会を開催し、申込のあった各団体からテーマを提案していただきました。11月12日と27日に行われた市政懇談会での、市政に対する要望や意見、質問などを紹介します。(要望や回答は要約して掲載しています)



地域医療を育む会

開催日：平成25年11月12日(火)

参加人数：40人



質問 市立御前崎総合病院を含めた地域医療を視野に入れた将来構想について聞きたい。

回答 家庭医などの新しい診療科の創設など、中期的にみれば明るい材料もある。現在、奨学金制度を利用して医大生が2人いるため、研修後当院へと考えている。当院は地域に欠かせない存在であるとの使命があるため、改革行動計画に沿って

今後、業者に対して、当院の情報積極的に発信し、医師の確保に努めたい。

以前、診療体制の維持のためテナント方式を検討した経緯があるが、独立採算や医師以外の人材の問題などがあり実現していない。今後、当院を利用して地域医療につなげていく事も検討したい。

努力し、地域医療の使命を全うしたいと考える。

質問 市内には精神科の病院がないため、通院に不便を感じている。医師の確保が難しいのであれば、掛川市のように相談支援や作業所等全てを集約した総合支援センターのようなものを作ってほしい。

質問 医師確保のためのセクションを作る。病院をテナントとして開業医に開放する。産婦人科医の確保や子どものための支援センターを作る。以上を提案する。

回答 当院に精神科医を呼ぶのは非常に難しい。現在、近隣の総合病院、開業医と連携を取り患者の紹介を行っている。今後はさらに連携を深める対応をしていく。

寧な説明が必要ではないか。

回答 医師の退職などにより、今までのように1次医療(風邪などの日常的な病気)の受け入れも現在の体制では難しく、満足な医療が提供できないことから、11月から外科も予約制とした。わかりにくい体制であるが、受診方法や1次医療については開業医で受診や相談をしていたなど、ご理解をいただきたい。病院としてもわかりやすい情報発信に努めたい。

質問 市立病院も企業の一つ。利益率は上がってはいるが、時間的スパンが長すぎる。経営的に新しい風を入れたいといけな

回答 外部から病院を見直す事は非常に大事だと考える。医療に携わり理解している人など、今後外部の人を入れる事も一つの方法だと思っている。

運行をしたが、利用者は非常に少なく、今後運行は難しいと考える。来年度は、ワゴン車を購入し、各公民館に貸与し、地域ごとに上手に活用していければと考えている。

質問 在宅医療に関わる、家庭医に関してどうお考えか。

回答 施設、病院から家庭へと今後の医療制度が変わる。当院も訪問看護や訪問リハビリを行っているが、医師不足で訪問診療はできない。静岡県は全国に先駆けて家庭医事業に取り組んでおり、今後ますます需要が増える。来年度から協議会に参加し、将来的にオールマイティーな医師が地域に根づいてくれるよう家庭医の育成に積極的に取り組んでいく。

関係市と足並みをそろえていくため、すぐに医師の確保ができるわけではない。長い目で見ていただきたい。

回答 医師確保のため、医師紹介業者と成功報酬型で契約をしているが、

質問 診療体制の変更が多すぎて、市民は戸惑い、病院への不信感が増している。受診方法などは市民の理解を得るような丁寧な説明が必要ではないか。

回答 高齢者の病院への交通手段として、コミュニティバスの運行についてお聞きしたい。

回答 コミュニティバス試験